

チャレンジ！「夢・希望・五島の力」

丸田 たかあき

後援会連絡所

2017年市議会議員選挙に落選した丸田たかあきです。なので私の戦う場所は「議場」ではありません。2週間足らずでの得票数。マイナスからのスタートで579票。今回、初挑戦の私に投票してくれた皆様方を大事に、3年後まで後援会活動・政治活動・街頭演説会等を堂々とこなしていく一人でも多くの有権者の皆様方へ、私の政治信条を理解していただくことを考えております。私の「初！挑戦！」は、「再！挑戦！」へと新化しました。挑戦者 丸田たかあきはここにたっています。

野口市政の「癖」 安心安全の神話 台風で崩れたり

いつ熊本地震並の大地震が起きるか分からない。耐震対策に五島市政が打ち出した政策が！五島市役所を建て替えていきます。その概算予算に24億4400万円また、富江・奈留・岐宿・三井楽の各支所庁舎も建て替えていきます。概算予算として12億6400万円大地震に備えての市役所本庁舎、支所庁舎を市民

真剣に考えるべき時が来た

の安心安全を守ることへの建設の必要性を訴えて市議会でも了承した事実である。数年ぶりに台風直撃となり農作物への被害がささく出てきている。また台風被害にて旧4町では3日22時現在でも復旧作業は難航しているらしい。22時半過ぎに富江在住の知人からの電話で停電を知った。正午過ぎから10時間以上に亘る停電。すぐさま、冷凍庫、冷蔵庫の中の商品はどうですか？と聞いてみる。多分商品には使えないかもと言う。またスーパーや小店でアイススクリーム等は溶けているだろうな。このように農作物以外にも台風被害の影響は拡大しているようだ。市役所本庁舎に各支所庁舎の建設。37億円の予算、市民の安心安全の為と言うの

可能エネルギー基本構想

7月1日に開館した山本三三美術館。山本三三ファミリーは五島市民のおかげで美術館が運営出来るのであり、今回の台風直撃での被害見舞いとして、美術館改修に要した1億2500万円、更に5年間の運営費6千万円合わせて1億8500万円を寄付なされてはいかがでしょうか？五島市は再生可能エネルギーの最先端地域として発信しているようであり、電力に関しては問題など無いように働き取れたりもするが、果たして市民生活にプラスに働いている、今後働くのだろうか？型ばかりが先行しており、洋上風力発電は事業者と関連する企業だけにメリットがないものになるのではないのかと思ったりもする。市役所本庁舎建てます。各支所庁舎も建て替えます。新しい図書館も建てます。山本三三ファミリーへ美術館もこしらえてあげました。本当に市民生活の為に必要なのだろうか？

【連絡先】
五島市中央町7番地25
丸田たかあき後援会事務所
090-2080-8438
次回選挙まで 後 33回発行

台風7号の影響に伴う停電状況について

2018年07月03日22時現在

行政区	停電戸数(千戸)	停電率(%)	復旧見込み
合計	32.5	7.3	継続中

現在、設備の被害状況の確認を行っており、被害のない地域から順次復旧してまいります。被害地域では、電源供給を再開するまでに、復旧作業に要する場合があります。

美術館建設費用へ「税金」・施設運営費用も「税金」五島市民にジュース1杯支給されますか！？

不安と危険、無責任の五島市で五島市が今後もエネルギーの島として、再生可能エネルギーの先進地域となり、経済的にも持続可能な発展を遂げていくため、市が策定する「五島市再生可能エネルギー基本構想」に基づく再生可能エネルギー導入の具体的な取り組みを進め、地域産業の育成及び、雇用創出に寄与することを目的としております」とあります。そこで太陽光発電を推進しているのです。立派な太陽光設備ができて台風で停電じゃしょうがないですね。元々、太陽光設備などの再生可能エネルギーの設備を製造するには、化石燃料を使う必要があるから、再生可能エネルギーの意味がない。それを推進するお金は、電気料金として我々が負担させられている。利益は島外資本に持っていかれるのだ。

かくの市ホームページでの市からのお知らせ、ガラケー世代のシニア市民、携帯では見れないまるごと。これでもわからない、五島市野口市政。市民生活への安心安全に必要なやるべきこと。山本三三美術館開設で安心安全なのは山本三三ファミリーの老後。有名になれば年金と比べ物にならない市民が納めた税金でキックバックの安定した支給が約束される。市民からのボーナスはゴールド免許の更新と同じ「5年」。利点、島に住みもせず、用事ある時に税金で往き来。客は来ずとも管理料は約束された楽で嬉しい市からのプレゼント。

世界遺産ね
台風接近、職員も多くも自宅の家周りは植木鉢を屋内に入れたり、雨戸シャッターを下ろしたり、自転車をフェンスに縛り付けたりと暴風雨から守る対策を行ったことだろう。市民の税金で買い揃えられた世界遺産登録告知の幟「無残にも市役所本庁舎のある部分に避難されていた。私には幟が泣いているように伝わってきた。台風接近への対策で市役所に立てられていた幟を避難させたのだから、なぜ庁舎内に「時保管しないのか？数年前には幟がへし折られたとして警察へ被害届を出すくらい、税金で揃えて備品を大事に思う市役所であったのだ。他人にやられれば即警察へ！情報提供を受けて現場確認し写真撮って担当課へ直行。市長、副市長の部屋が陣取る総務企画部にて税金で購入した幟の管理方法について大音量での叱責。文化会館ではしゃしゃり出て我先にと目立ちたがるお偉い様。総務企画部には部長もいれば課長もいる。丸田からの注意、指摘、叱責に代表して対応できる管理職員は居ない。可愛そうな職員達である。五島市役所は「ワスク管理」の対処が遅れているようだ。世界遺産は3つに分類され、危機にさらされている世界遺産「2か国以上で保有する、国境を越える資産」、そして、「負の世界遺産」などがある。常識に欠けた五島市役所そのものが、負の世界遺産と位置づけられてもおかしくないだろう。

